



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社 ラピーヌ

上場取引所 東

コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青井 康弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員社長室長 (氏名) 尾崎 史照

TEL 06-6358-2256

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	4,472	5.8	242		234		254	
30年2月期第2四半期	4,744	0.4	12		36		40	

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 277百万円 (%) 30年2月期第2四半期 27百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	108.89	
30年2月期第2四半期	17.42	17.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	9,132	5,126	55.9
30年2月期	9,093	5,428	59.4

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 5,105百万円 30年2月期 5,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		15.00	15.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,450	4.5	250		240		100	24.8	42.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	2,767,064 株	30年2月期	2,767,064 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	419,199 株	30年2月期	440,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	2,335,682 株	30年2月期2Q	2,324,781 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、1株当たり情報の端数処理方法につきましては、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて、切捨てとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果を背景に、堅調な雇用・所得環境の改善に加え、設備投資が堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米国の通商政策に端を発する貿易摩擦や金融資本市場の変動が国内景気に与える影響が懸念されるなど景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するアパレル業界におきましては、一部にインバウンド需要の回復による高額品需要が好調に推移するほか、季節需要の高まりがあったものの、衣料品を中心としたファッション関連消費全般では、消費者の節約意識は強く、各地で記録的な猛暑や豪雨等の自然災害に見舞われた7月に続き、8月も大型台風の相次ぐ発生、上陸をはじめ異常気象が消費環境にマイナス要因となり、総じて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「NL2020」に掲げる「ブランド力を磨く」と「ショップビジネスを伸ばす」を重点目標に、引き続き各施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は、44億72百万円（前年同期比5.8%減）となり、損益面におきましては、営業損益は2億42百万円の損失（前年同期は12百万円の利益）、経常損益は2億34百万円の損失（前年同期は36百万円の利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は2億54百万円の損失（前年同期は40百万円の利益）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<卸売事業>

ブランド毎に消費者ニーズを捉える新商品開発の強化と販売先、消費者へブランド力をアピールする積極的な営業活動を展開してまいりましたが、不採算取引の整理に伴う販売高の減少に加えて、夏場の異常気象の影響もあり、当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は29億96百万円（前年同期比11.7%減）となり、営業損益は1億75百万円の損失（前年同期は43百万円の利益）となりました。

<小売事業>

店舗業態毎に、商品品揃えの強化、販売促進策の実行に努め、新規出店店舗の軌道化並びに既存店舗の業績確保に取り組んでまいりました。

当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14億68百万円（前年同期比9.4%増）となりましたものの、新規店舗のインシヤルコスト負担が先行し、営業損益は50百万円の損失（前年同期は12百万円の損失）となりました。

直営店数につきましては、当第2四半期連結累計期間中に、子会社の株式会社ベルラピカの直営小売店4店を出店、同1店を退店し、同期間末の運営店舗数は当社グループ合計で55店となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、91億32百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1億2百万円があった反面、投資有価証券の増加77百万円、差入保証金の増加56百万円があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億41百万円増加し、40億6百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少1億30百万円があった反面、長期借入金の増加3億82百万円、その他流動負債の増加2億53百万円があったことによるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億1百万円減少し、51億26百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、利益剰余金が2億89百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少83百万円、減価償却費57百万円の非資金費用の発生等がありましたが、税金等調整前四半期純損失が2億44百万円となり、3億97百万円の支出（前年同期は1億44百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出1億2百万円、有形固定資産の取得による支出64百万円等がありましたが、有形固定資産の売却に係る手付金収入（本社移転に伴う不動産売買契約に定める手付金）3億5百万円等により、80百万円の収入（前年同期は0.3百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済3億17百万円、短期借入金の減少1億30百万円等がありましたが、長期借入の実行7億円等により、2億14百万円の収入（前年同期は52百万円の収入）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて1億2百万円減少して、7億49百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、平成30年4月9日に公表いたしました予想数値から変更しております。当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異と併せ、本日公表の「平成31年2月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の連結業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の企業を取り巻く様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,998	749,276
受取手形及び売掛金	1,027,788	944,021
商品及び製品	1,674,166	1,663,195
仕掛品	231,882	270,958
原材料及び貯蔵品	23,182	17,510
その他	150,259	220,237
貸倒引当金	△2,236	△2,116
流動資産合計	3,957,041	3,863,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	960,306	940,153
機械装置及び運搬具（純額）	21,027	24,734
土地	3,180,332	3,180,332
その他（純額）	63,733	89,856
有形固定資産合計	4,225,399	4,235,076
無形固定資産		
その他	21,811	24,942
無形固定資産合計	21,811	24,942
投資その他の資産		
投資有価証券	259,479	336,752
差入保証金	583,795	640,787
その他	82,579	37,677
貸倒引当金	△36,587	△5,747
投資その他の資産合計	889,267	1,009,470
固定資産合計	5,136,477	5,269,489
資産合計	9,093,519	9,132,572

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,274	439,575
電子記録債務	238,599	205,926
短期借入金	580,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	467,888	592,210
未払金	452,995	375,827
未払費用	31,513	35,167
未払法人税等	46,490	36,723
返品調整引当金	47,000	45,600
ポイント引当金	40,694	40,507
その他	97,355	351,278
流動負債合計	2,466,811	2,572,817
固定負債		
長期借入金	950,650	1,209,052
退職給付に係る負債	144,204	122,022
資産除去債務	60,921	62,622
その他	42,568	39,686
固定負債合計	1,198,344	1,433,383
負債合計	3,665,155	4,006,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	1,315,637	1,307,033
利益剰余金	139,868	△149,361
自己株式	△536,707	△510,452
株主資本合計	5,272,820	5,001,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,502	88,043
繰延ヘッジ損益	△40	—
退職給付に係る調整累計額	16,777	15,947
その他の包括利益累計額合計	127,239	103,991
新株予約権	28,303	21,140
純資産合計	5,428,363	5,126,372
負債純資産合計	9,093,519	9,132,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	4,744,980	4,472,136
売上原価	2,493,908	2,451,483
売上総利益	2,251,072	2,020,652
販売費及び一般管理費	2,238,375	2,263,488
営業利益又は営業損失(△)	12,696	△242,836
営業外収益		
受取利息	44	32
受取配当金	2,734	3,023
為替差益	3,476	1,927
助成金収入	11,298	10,967
生命保険配当金	10,110	8,787
その他	9,935	6,701
営業外収益合計	37,599	31,440
営業外費用		
支払利息	11,194	9,277
支払手数料	2,644	13,426
その他	439	714
営業外費用合計	14,278	23,418
経常利益又は経常損失(△)	36,017	△234,814
特別利益		
固定資産売却益	25,784	28
特別利益合計	25,784	28
特別損失		
固定資産除売却損	4,132	1,774
減損損失	4,439	8,127
事業所閉鎖損失	—	0
特別損失合計	8,572	9,901
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,229	△244,686
法人税、住民税及び事業税	10,311	9,735
法人税等調整額	2,407	△87
法人税等合計	12,719	9,647
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,510	△254,334
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,510	△254,334

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,510	△254,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,915	△22,458
繰延ヘッジ損益	△94	40
退職給付に係る調整額	△3,751	△829
その他の包括利益合計	△12,761	△23,248
四半期包括利益	27,748	△277,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,748	△277,583
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	53,229	△244,686
減価償却費	56,135	57,782
減損損失	4,439	8,127
固定資産除売却損益(△は益)	△21,652	1,745
事業所閉鎖損失	—	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	167	△8
返品調整引当金の増減額(△は減少)	11,500	△1,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27,067	△23,377
ポイント引当金の増減額(△は減少)	432	△187
受取利息及び受取配当金	△2,778	△3,055
支払利息	11,194	9,277
売上債権の増減額(△は増加)	16,571	83,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,026	△22,433
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,543	△57,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	39,830	△51,782
その他	△76,732	△128,138
小計	△54,299	△371,741
利息及び配当金の受取額	2,778	3,055
利息の支払額	△11,675	△8,570
退職加算金の支払額	△55,529	—
法人税等の支払額	△26,239	△20,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	△144,964	△397,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,742	△64,554
有形固定資産の売却による収入	31,062	28
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	305,000
無形固定資産の取得による支出	△2,070	△4,500
投資有価証券の取得による支出	△2,747	△102,782
差入保証金の増減額(△は増加)	15,743	△56,491
その他	△1,852	3,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	393	80,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	△130,000
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△343,942	△317,276
自己株式の取得による支出	△189	△171
配当金の支払額	△677	△34,733
その他	△3,123	△3,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,067	214,472
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,503	△102,722
現金及び現金同等物の期首残高	847,803	851,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	755,299	749,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(固定資産の譲渡)

当社は、平成30年3月19日に下記のとおり固定資産の譲渡を決定し、平成30年3月20日に不動産売買契約を締結いたしました。

当該譲渡に伴い、第4四半期連結会計期間において固定資産売却益約400百万円を特別利益として計上する予定です。

1. 譲渡の理由

当社グループは、社員の働き方や意識の改革を推進し、業務効率化や生産性の向上を図るために本社を移転することとし、併せて経営資源の有効活用による有利子負債の圧縮を図るため、現本社ビルの土地・建物を売却することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

①所在地	大阪市北区天満一丁目5番7号
②土地面積	1,374.08㎡
③建物延床面積	4,922.58㎡
④譲渡益	約400百万円
⑤現況	事務所

(注) 譲渡価額、帳簿価額につきましては、譲渡先の強い要請により開示を控えさせていただきます。譲渡益は、譲渡価額より帳簿価額と譲渡に伴う諸費用の見積額を控除した概算金額です。

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、国内法人1社であります。譲渡先の強い要請により開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係および取引関係はなく、また譲渡先は当社の関連当事者には該当いたしません。

4. 譲渡の日程

平成31年1月下旬 物件引渡し（予定）

(注) 当初、物件引渡しを平成30年12月28日（予定）としておりましたが、当該物件の引渡し前に実施すべき設備の撤去等に時間を要することとなったため、上記のとおり時期を変更いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年3月1日 至平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,394,988	1,342,569	4,737,557	7,423	—	4,744,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,394,988	1,342,569	4,737,557	7,423	—	4,744,980
セグメント利益又は損失(△)	43,539	△12,616	30,923	△18,227	—	12,696

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年3月1日 至平成30年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,996,505	1,468,899	4,465,404	6,731	—	4,472,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,996,505	1,468,899	4,465,404	6,731	—	4,472,136
セグメント損失(△)	△175,059	△50,083	△225,143	△17,693	—	△242,836

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成28年2月期及び平成29年2月期において2期連続の営業損失及び営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上いたしました。前連結会計年度（平成30年2月期）においては営業利益を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローもプラスとなりましたものの、当第2四半期連結累計期間において、婦人衣料品の消費が力強さを欠く中、相次ぐ自然災害、異常気象の影響もあり売上高が減少し、営業損失、営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当該事象又は状況を解消、早期の業績回復を実現するため、製造・仕入圧縮、持ち越し在庫削減、不採算取引の中止等、粗利益率改善及び固定費の圧縮による柔軟な損益構造への転換、中長期成長戦略としてEC事業並びに小売事業の強化等の実行策を策定して取り組んでおり、今後も継続して推進してまいります。

以上により、安定的収益力、経営基盤の強化に努め、また、事業資金についても安定的に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。